

アクセスマップ

本山だより



真宗興正派本山興正寺全景

真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル
TEL 075-371-0075(代) FAX 075-371-8509



本山興正寺公式
ホームページ



Facebookを
チェック！



公式LINE
お友達登録



Instagram
KOSHOUJI.KEON

第61号

令和4年
3月

「今こそお念仏——つなごうふれあいの輪」



きょうさん

慶讃法要

令和5(2023)年4月18日(火)～20日(木)

令和5年慶讃法要の特設サイトができました。
下のURLもしくはQRコードよりアクセスしてください。
<https://www.koshoha-kyousanhouyou.com/>



法要特設サイト

興隆正法運動

興隆正法運動は、日本に仏教をひろめた聖徳太子の事績にちなみ「正しき法を興し、さかえさす」(正法を興隆する)との願いが込められた興正寺の寺号に由来しており、お念仏を多くの人に伝えていく真宗興正派の教化運動です。

教化テーマ 「やっぱり阿弥陀さん」 《聞く》《喜ぶ》《伝える》の3つの姿勢

1. お寺にお参りして
仏さまの願いを聞きましょう。
2. 家族そろって仏さまに手を合わせ
授かったいのちの尊さを
喜びましょう。
3. 柔らかな心でお互いが認め合える
幸せを伝えましょう。

お知らせ

令和4年の春の法要は、
4月21日(木)、22日(金)の2日間、
内勤めにて厳修いたします。

聖徳太子と「興隆正法」の願い

聖徳太子没後1400年

ある一定以上の年代の方なら、かつての1万円札の絵柄としての印象の強い聖徳太子。

2021年は聖徳太子の1400年忌にあたり、真宗興正派では2022年4月に聖徳太子1400回忌を厳修いたします。聖徳太子は飛鳥時代に推古天皇の摂政として政治を司った人物として歴史の教科書にも登場します。聖徳太子の主なご事績の1つに日本初の憲法として国のあるべき姿を示した『十七条憲法』の制定があります。第1条の「和を以て貴しとなす」、第17条の「篤く三宝(仏・法・僧)を敬え」など『十七条憲法』には仏教の思想が根本に織り込まれています。聖徳太子の政治は仏教を栄えさせ、仏教を中心とした平和な国造りを目指したものでした。

浄土真宗の宗祖親鸞聖人は聖徳太子を〈和国の教主〉つまり〈日本のお釈迦様〉と篤く信奉し、聖人の生涯にも大きな影響を与えました。比叡山で20年間におよぶ修行生活に区切りをつけ、誰もが救われる道を求めて深い悩みの底にいた聖人が足を運んだのは救世観音菩薩を本尊



▲上宮皇太子(聖徳太子)尊像
【興正寺蔵】

とする六角堂。聖徳太子は救世観音菩薩の化身という信仰があり、この六角堂を建立したのも聖徳太子と伝えられています。聖人はここに100日間籠ることにしました。



▲六角堂に参籠する親鸞聖人の枕元に白い袈裟をつけ気高いお姿の僧侶に化した救世観音菩薩が現れた。
【興正寺蔵『親鸞聖人御絵伝』】

その95日目の夜、眠りに落ちた聖人の枕元に白い袈裟姿の気高い僧侶姿の救世観音菩薩が現れたのです。聖人はその夢告に従い法然上人のもとを訪ね、修行僧だけでなく、誰もが救われるお念仏の道に出会うことができました。この夢告を聖人は聖徳太子のお導きと感激しています。在家でありながら深く仏法に帰依した聖徳太子の生き方もまた、自らを「非僧非俗」と称した親鸞聖人の生涯にとって大きな後ろ支えとなったことでしょう。

ところで興正寺という寺号には聖徳太子の《正しき法を興し、さかえさす》興隆正法の想いが込められていると伝えられています。現在興正寺では寺号にちなみ【今こそお念仏-つなごうふれあいの輪】をスローガンに多くの人にお念仏を伝えていく興隆正法運動を展開しています。

教えて、テンマくん!

